

令和6年度 健康・福祉に関する諸計画の推進に関する意見書

令和7年3月25日
多治見市地域福祉計画評価委員会
委員長 海 老 諭 香

1 福祉教育の推進について【地域福祉計画－福祉教育の拡充】

地域福祉の担い手、介護事業所の人材など、福祉分野全体での人材不足が課題となっている。福祉分野への関心をもてるような取り組みを強化していく必要がある。中学生までは、福祉に関する活動が多く行われているが、それ以降の年代は福祉に関する活動にふれる機会が少なくなっているように思われる。多くの世代に福祉に対する意識・関心が継続するような取り組みを強化していく必要がある。

2 地域での生活支援、ごみ出しへの取り組み【高齢者保健福祉計画－生活応援員の拡充】

多くの地域で、地域住民の生活支援やごみ出しへの取組が、高齢福祉課の生活応援員制度や地域福祉協議会の事業として行われている。くらし人権課ですすめている地域力での取り組みも始まると聞いている。それぞれに良い取り組みであるが、仕組みや財源なども含めて市全体として再構築していただきたい。

以上